

01	オホーツク観光再生事業	カテゴリー	移住交流、地域資源、産業振興
		関連するSDGsのゴール	  
02	オホーツク「食」のブランド化促進事業 寄附金活用	カテゴリー	地域資源、産業振興
		関連するSDGsのゴール	    
03	オホーツク地域新規学卒者等地元就労・定着促進事業	カテゴリー	担い手確保・育成
		関連するSDGsのゴール	  
04	オホーツク東部地材地消推進事業	カテゴリー	ゼロカーボン、地域資源、担い手確保・育成、農林水産業
		関連するSDGsのゴール	  
05	みて・さわって・つかって！オホーツク産木製品認知度向上事業	カテゴリー	ゼロカーボン、地域資源、農林水産業
		関連するSDGsのゴール	      
06	オホーツク農業を未来に繋ぐ！「SyuNoh」推進事業	カテゴリー	担い手確保・育成、農林水産業
		関連するSDGsのゴール	    
07	オホーツクあぐりテロワール魅力発信事業	カテゴリー	移住交流、産業振興、農林水産業
		関連するSDGsのゴール	    
08	オホーツクスマートアグリ推進事業	カテゴリー	D X、農林水産業
		関連するSDGsのゴール	        
09	オホーツク・スポーツブランド化推進事業	カテゴリー	スポーツ
		関連するSDGsのゴール	 
10	知床世界自然遺産のインバウンドステップアップ事業	カテゴリー	地域資源、産業振興、環境生活
		関連するSDGsのゴール	     
11	地域に根ざすオホーツク愛創生事業	カテゴリー	移住交流、担い手確保・育成、教育
		関連するSDGsのゴール	   
12	地域連携推進オホーツク活性化事業	カテゴリー	移住交流、地域交通、ゼロカーボン、地域資源、産業振興
		関連するSDGsのゴール	      



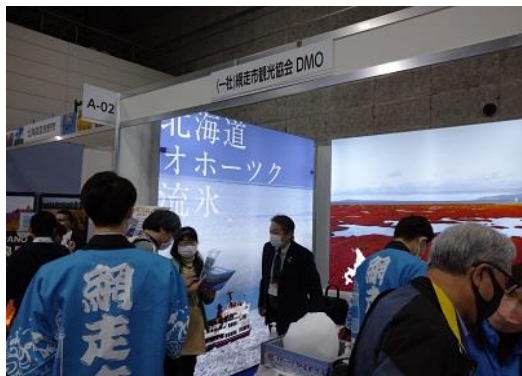
01 オホーツク観光再生事業

カテゴリー 移住交流、地域資源、産業振興

事業概要（令和3年～令和5年）

コロナ禍で変わる旅のスタイルに対応し、オホーツク地域の域外からの交流関係人口の増加、観光産業の振興を図るため、地域の特性・資源を活かし、管内市町村が連携しての戦略的な個人・団体旅行（外国人を含む）を誘致しています。

また、豊かな自然環境、地域の産業・文化などと調和した観光の確立及び地域の優位性を活かした観光地づくりを推進しています。



観光プロモーション（大阪市）の様子

令和3年度の主な実績

地域と連携した観光プロモーション（新潟市・石川市・金沢市・大阪市）を実施しました。

ホテル従業員等を対象に、観光受入支援セミナーを開催しました（インバウンド対応能力強化研修inウトロ）。

関連するSDGsのゴール



02 オホーツク「食」のブランド化促進事業

カテゴリー 地域資源、産業振興

事業概要（令和3年～令和5年）

寄附金活用

オホーツク地域のブランド力を向上させ、「オホーツク」の知名度をより高めていくため、地域資源を活かした多様な産品を管内外に発信するとともに、商品開発等を推進し、食関連産業の総合的な振興を図る取組を進めています。

また、新型コロナウイルス感染症の影響で中小企業が物産展等に出展をする機会が減少していることから、振興局が主体となったPR事業の提供により、販路拡大に繋げる取組を進めています。



地場産たくさんオホーツク弁当（オホ弁）発売開始お披露目会の様子

令和3年度の主な実績

北海道どさんこプラザマーケティングサポート催事制度を活用した管内商品販売イベントの開催や、管内産品を活用した「地場産たくさんオホーツク弁当（オホ弁）」の開発を、管内事業者等と共に実施しました。

関連するSDGsのゴール



03 オホーツク地域新規学卒者等地元就労・定着促進事業

カテゴリ

担い手確保・育成



展示会における企業ブース訪問の様子

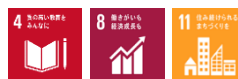
事業概要（令和元年～令和3年）

オホーツク地域における人手不足への対応や雇用のミスマッチ解消を図るため、進路を決める前の高校1～2年生を対象に、地元企業や仕事の認知度向上、職業観の醸成を図り、地元への就職志向の強い若年者が、長く安心して地域で働くことができるよう地元就労や職場定着を促進する取組を実施しています。

令和3年度の主な実績

北見市内において、管内高校生を対象とした「地元企業展示会」を開催するとともに、管内企業の職場を直接見学・体験する「管内企業見学会（バスツアー）」を行いました。

関連するSDGsのゴール



04 オホーツク東部地材地消推進事業

カテゴリ

ゼロカーボン、地域資源、担い手確保・育成、農林水産業



林業機械（グラブ）操作体験の様子

事業概要（令和3年～令和5年）

北見地域の川上から川下に至る関係者等で構成された「北見の地域材活用推進の会」を中心に、将来の技術者への地域資源を活かした木材利用意識を醸成し地元企業が有する木材利用技術の継承を図るため、関係者の情報交換会や高等学校等を対象に地材地消を辿る体験学習を開催するなど地域材活用への取組を進めています。

令和3年度の主な実績

北見高等技術専門学院の学生を対象に「北見地域地材地消見学会」を開催しました。

北見市の人工林の皆伐現場、製材工場、地域材を使用した建設中の保育園を見学し、木材の良さを理解してもらうとともに、北見市内で地材地消を体験してもらいました。

関連するSDGsのゴール





05 みて・さわって・つかって！オホーツク産木製品認知度向上事業

カテゴリー ゼロカーボン、地域資源、農林水産業

事業概要（令和元年～令和3年）

オホーツク地域は、全国一の森林認証面積を有する地域であることに加え、割箸やアイススプーン、経木など日常生活で使用する「身近な木製品」を生産している国内でも数少ない地域であることから、これらの木製品を地域の認知度を向上させるための「PR媒体」として活用することで、一般消費者や民間企業向けに木製品及びオホーツク地域のPRを行っています。



東京ビックサイトにおけるオホーツク産木製品PRの様子

令和3年度の主な実績

管内の飲食店や首都圏のどさんこプラザなどへの木製スプーン配布や東京ビックサイトでのカタログ配布、PR動画の上映を行いました。

関連するSDGsのゴール



06 オホーツク農業を未来に繋ぐ！「SyuNoh」推進事業

カテゴリー 担い手確保・育成、農林水産業

事業概要（令和元年～令和3年）

オホーツク農業の持続的な発展には、新規就農者の安定的な確保が必要であり、特に、農村の集落機能やコミュニティの維持のためには、農外からの新規参入の一層拡大が必要であることから、新規参入者の受入拡大を図る取組を管内一体的に推進しています。



オンラインで参加した就農イベントの様子

令和3年度の主な実績

市町村、農協、農業団体等を構成員とした「オホーツク新規就農者対策会議」による連携体制の強化、就農フェア（札幌開催）や酪農・畜産に特化した座談会へのオンライン出展、東京農業大学オホーツクキャンパスと連携したセミナーの開催等の取組を実施しました。

関連するSDGsのゴール



07 オホーツクあぐりテロワール 魅力発信事業

カテゴリー

移住交流、産業振興、農林水産業



事業概要（令和3年～令和5年）

新型コロナウイルス感染症を契機に、地域の食の価値と魅力を見つめ直す機会となっていることをチャンスと捉え、オホーツクの農業・農村・農畜産物の魅力を再発信し、認知度向上、付加価値向上に取り組むとともに、消費者へのPR、消費拡大につなげる取組を進めています。

オホーツクスイーツ&ミルクスタンプラリー PRポスター

令和3年度の主な実績

オホーツクスイーツ&ミルクスタンプラリーの実施、オホーツク産農畜産物消費拡大・PRの取組としてビーンズセミナーの開催、農業者の方々の付加価値向上に向けた研修を実施しました。

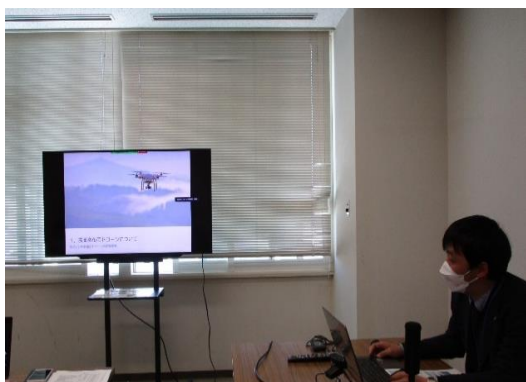
関連するSDGsのゴール



08 オホーツクスマートアグリ推進事業

カテゴリー

DX、農林水産業



オンライン開催したスマート農業セミナーの様子

事業概要（令和3年～令和5年）

オホーツク管内の農業においては経営規模の拡大が進んでおり、これに対応しながら、安定的に農畜産物を供給していく必要があります。

このため、省力化や収量・品質向上が期待されるスマート農業の導入や、農業生産工程を適切に管理していく手法であるGAPの取組を推進することにより、ハード面・ソフト面双方での効率的な農業の実現を図っています。

令和3年度の主な実績

スマート農業の普及促進のため、農業用ドローンでテーマとしたセミナー開催や農業者向けのパンフレットの作成・配布を行ったほか、GAPの推進のため、農業者のGAP実践に向けた研修会や、関係者による意見交換会を開催しました。

関連するSDGsのゴール





09 オホーツク・スポーツブランド化推進事業

カテゴリー スポーツ

事業概要（令和2年～令和4年）

スポーツ関係者の交流人口の拡大による地域経済の活性化を図るため、管内市町村及び関係機関で構成する協議会を設置し、夏は冷涼で日照率が高いなどの優れた気候特性を活かしたスポーツ合宿の誘致等に向けた取組を進めています。



パンフレット配架（札幌駅前通地下歩行空間）の様子

● 令和3年度の主な実績

北海道魅力ギャラリー等においてパンフレットの配架を行いました。

また、オホーツク管内にて合宿を行う団体に対して、オホーツクスイーツ販売店のスイーツを提供し、オホーツク地域への再訪の促進を図りました。

関連するSDGsのゴール

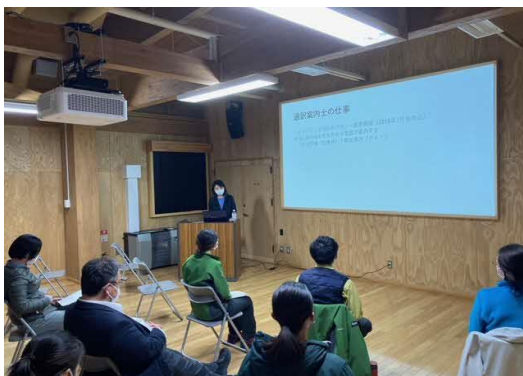


10 知床自然遺産のインバウンドステップアップ事業

カテゴリー 地域資源、産業振興、環境生活

事業概要（令和3年～令和5年）

世界自然遺産「知床」では、近年、外国人来訪者の増加傾向が著しいため、新型コロナウイルス感染症の収束を見据えた中で、知床の価値や利用のマナーを正しく伝えるなど受入体制を充実していく必要があることから、外国人旅行者との接点の多い宿泊施設従業員を対象にした外国人対応基礎講習会の実施や、利用マナーの普及啓発を行うなど地域住民も含めた地元意識の向上・拡大・定着と段階的なステップアップを図っています。



外国人対応基礎講習会の様子

● 令和3年度の主な実績

宿泊施設従業員を対象に、初歩的なインバウンド対応能力向上を図る講演会を実施したほか、知床の利用ルールに関するステッカーの作成・配布を行いました。

関連するSDGsのゴール



11 地域に根ざすオホーツク愛創生事業

カテゴリ

移住交流、担い手確保・育成、教育

事業概要（令和2年～令和4年）

転出超過が顕著な10代後半から20代前半の若い世代の地元定着を目的に、地域の多様な関係者間の連携による地域の仕事を知る機会の創出や学生等と企業とのマッチング環境の整備を進めています。

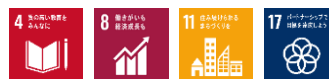


高校生向け出前型ワークショップの様子

令和3年度の主な実績

地域の将来を担う高校生を対象に、地域の仕事の魅力や地元で働く選択肢があることを知ってもらうため、地域で働く様々な経歴の社会人を招へいたワークショップを開催しました。

関連するSDGsのゴール



12 地域連携推進オホーツク活性化事業

カテゴリ

移住交流、地域交通、ゼロカーボン、地域資源、産業振興

事業概要（令和2年～令和4年）

交流・関係人口の拡大による地域経済の活性化を図るため、行政はもとより、地域の多様な関係者と有機的に連携しながら、地域資源を活用した新たな取組を進めるとともに、効果的な情報発信を推進しています。



ちびっこ飛行体験ツアーinオホーツクの様子

令和3年度の主な実績

地域の小学生を対象に、管内就航路線の旅客機を活用した飛行体験「ちびっこ飛行体験ツアーinオホーツク」を実施したほか、管内のご当地キャラ隊「オホ☆キャラ隊」を活用した地域PR動画や地域情報を一体的に発信するポータルサイト「オホーツクールNOW」を作成しました。

関連するSDGsのゴール

